

1. 定 格

品 番	適合ヒューズ	定 格	絶 縁 抵 抗	耐 電 圧	材 料	燃 焼 性
FH-101	6.4×30	AC125V 5A	500V1KMΩ以上	50HZ1.5KV1分間異常無	ポリエチレン	
FH-102	5.2×20	AC125V 5A	500V1KMΩ以上	50HZ1.5KV1分間異常無	ポリエチレン	
FH-104	6.4×30	AC250V 5A	500V1KMΩ以上	50HZ1.5KV1分間異常無	66ナイロン	UL94V2
FH-105	6.4×30	AC250V 7A	500V1KMΩ以上	50HZ1.5KV1分間異常無	66ナイロン	UL94V0
FH-106	5.2×20	AC250V 5A	500V1KMΩ以上	50HZ1.5KV1分間異常無	66ナイロン	UL94V2
FH-108	5.2×20	AC250V 7A	500V1KMΩ以上	50HZ1.5KV1分間異常無	66ナイロン	UL94V0
FH-110	10.3×38	AC250V30A	500V1KMΩ以上	50HZ1.5KV1分間異常無	フェノール	UL94V0

※接続する電線は負荷電流に対して余裕ある太さのものを選択してください。

2. 使用材料の環境

品 番	燃焼性	U L 認 定 値			電 気 用 品 取 締 法	
		電 気 特 性	定 格 温 度 °C		電 気 絶 縁 物	使用温度の上限値°C
			機 械 的 外 力	機 械 的 外 力		
FH-101						70
FH-102						70
FH-104	94V2	105	75	85	135	
FH-105	94V0	105	65	65	130	
FH-106	94V2	105	75	85	135	
FH-108	94V0	105	65	65	130	
FH-110	94V0	150	150	150		

UL定格温度とは 10万時間、一定の温度で大気中に曝露した場合、初期の物性値が(電氣的、機械的等)50%に低下する一定の温度をいいます。熱のかかる用途 表の目安は使用材料を規格にそった試験方法で指定形状のテストピースを用いた時の結果でありヒューズホルダーの使用環境温度を保証するものではありません。使用条件の目安とお考え下さい。
燃える可能性のある用途 難燃グレードはたとえV0グレードでも、絶対に燃えない材料ということではありません。難燃レベルはヒューズホルダーとAssy、他の機器との組み合わせや使用環境により大きく変わる場合があります。したがってご使用に際しては使用環境・接続機器の設計等を充分考慮し使用に問題のないことをお客様がご判断のうえお客様の責任においてご使用下さい。

3. 温度上昇試験と製品の使用環境温度

品 番	温度上昇試験 (交流50Hz) (試験箇所、電線接続部)			製品の使用環境温度
	試験電流	温度上昇	周囲温度	
FH-101	5A	5°C	28°C	-25°C~60°C
FH-102	5A	7°C	28°C	-25°C~60°C
FH-104	5A	6°C	28°C	-25°C~60°C
FH-105	7A	11°C	28°C	-25°C~60°C
FH-106	5A	5°C	28°C	-25°C~60°C
FH-108	7A	13°C	28°C	-25°C~60°C
FH-110	30A	32°C	29°C	-25°C~60°C

表の試験は公立の技術研究機関に委託して実施したものです。ヒューズホルダーの温度上昇は接続する線材等によって大きく変わることがあります。使用する環境にあわせて余裕のある電線をお使いください。

4. 環境対応状況

ミズテクノの全商品はRoHs2規制10物質対応しております。
chemSHERPA「shaiファイル」提供可能です。

5. 圧着端子とヒューズ

接続はボタン形圧着端子をお使いください。

圧着端子とヒューズはヒューズホルダーに付属していません。別途お求めください。

品番	端子	推奨メーカー	品番	適合ヒューズサイズ
FH-101	6φボタン端子	住鋳テック	400612(ワイヤレンジ0.5~0.85) または同等品 ※1	6.4×30
FH-102	4φボタン端子	住鋳テック	400412(ワイヤレンジ0.3~0.85) または同等品	5.2×20
FH-104	6φボタン端子	住鋳テック	400612(ワイヤレンジ0.5~0.85) または同等品 ※1	6.4×30
FH-105	6φボタン端子	住鋳テック	400612(ワイヤレンジ0.5~0.85) または同等品 ※1	6.4×30
FH-106	4φボタン端子	住鋳テック	400412(ワイヤレンジ0.3~0.85) または同等品	5.2×20
FH-108	4φボタン端子	住鋳テック	400412(ワイヤレンジ0.3~0.85) または同等品	5.2×20
FH-110	特製端子及びスプリングが付属しています			10.3×38

※1 ワイヤレンジ0.5~1.25 日本端子 16311-M2

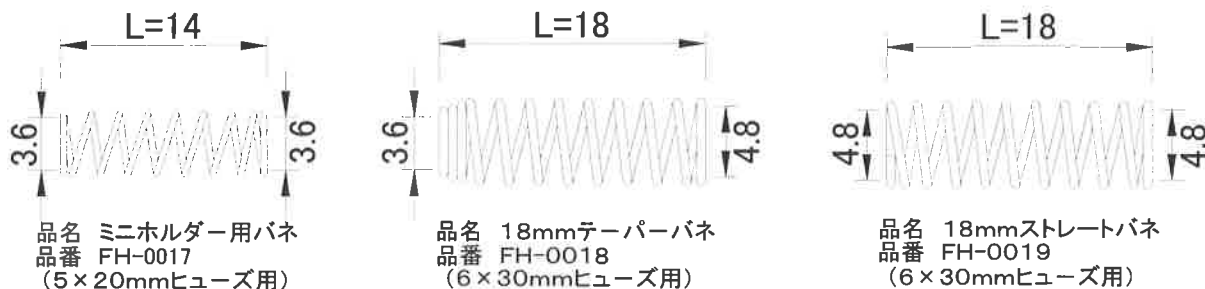
6. スプリング(付属品)の選定

FH-102:103:106:108はミニサイズのストレートタイプ(FH-0017)が付属しています。

FH-101:104:105には2種のスプリングを用意してあります。接続する線材と圧着端子との勘合具合等考慮の上、テーパータイプ(FH-0018)またはストレートタイプ(FH-0019)をお選びください。

端子カシメ部分最大3.5mm 以内の時 テーパータイプ、ストレートタイプ どちらか2者択一。

端子カシメ部分最大3.5~以上の時 ストレートタイプをご選択ください。



※お客様からバネのご指定がない時は弊社にて選択いたします。

7. テーパーバネ装着(FH-0018)のご注意

(FH-101 104 105)

正しい装着方向と位置



危険な使用例



端子カシメ部分が太いためバネが所定の位置に収まらない
対策 ストレートバネ(FH-0019)をお使いください

8. Assy の方向と各部の名称

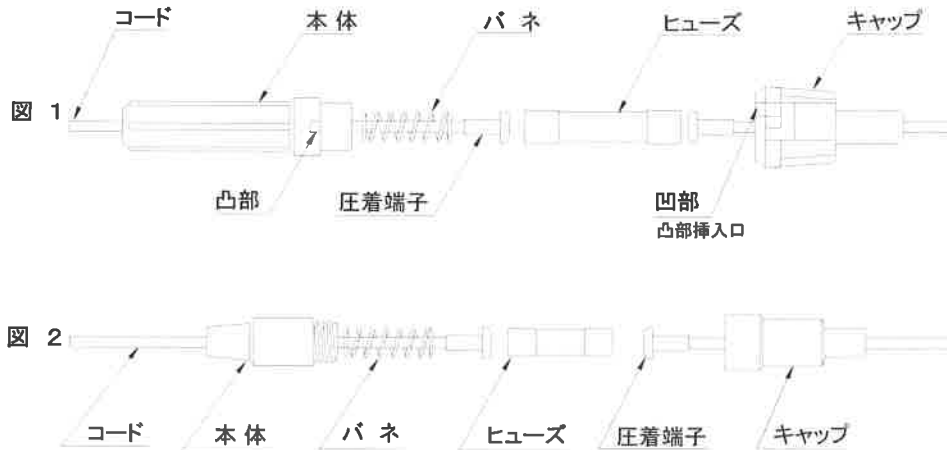


図1はFH-101.102.104.105.106.108を表示しています

図2はFH-103.110を表示しています

図はAssyの方向と各部の名称を描画したものであり本体及びキャップの形状は品番によって異なるものがあります

組み立て方法

図1は本体の凸部をキャップの凹部にあわせて挿入し右方向に回して引いてください

図2はねじをしっかりと閉めてください

9. たるませてお使いください

ヒューズホルダー全品番共通

本体側コードは張らずにたるませてお使いください

※ 張りすぎますとバネを引っ張ることになり

ヒューズと端子間で接触不良を起こす恐れがあります。



10. 動作確認

Assy 後に本体側コードを指で引いてバネが正常に効いていることをご確認ください

指を離すと元に戻ります

固くて引けない時は必ず端子のカシメ状態、バネの装着状態をご確認ください